

単元名

明治維新

1 単元のねらい

明治維新についてさまざまな改革を調べることを通して、明治政府が、日本を欧米諸国に対抗できる中央集権国家にすることを目指したことが分かる。

2 単元の評価規準

	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化について、世界の動きに関わらせて理解している。	明治維新の経緯のあらましや明治新政府が行った諸改革の意図、人々の生活の大きな変化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	明治維新の経緯のあらましや人々の生活の大きな変化に対するようすを主体的追究し、課題解決しようとしている。

●学習改善につなげる評価 ☆評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6	7	8
知識・技能	●	●	●		●	○		
思考・判断・表現				●			○	
主体的に学習に取り組む態度	●							○

3 単元構造図（全8時間）☆獲得する認識

単元名
明治維新

単元学習前の生徒の認識

近代化を進めた欧米諸国と不平等条約を結んだ江戸幕府。その後、長く続いた江戸幕府が滅亡し、明治政府による新しい国づくりが始まった。鎖国によって、欧米諸国と比べて遅れているこの国を明治政府はどのように変えていくのだろうか。

第1時 新政府の成立 【●知識・技能、●主体的に学習に取り組む態度】

明治政府によってどのようなことが行われたのか。

☆五箇条の御誓文 ☆版籍奉還 ☆廃藩置県 ☆藩閥政治 ☆解放令

この時代は、江戸幕府から明治政府に変わり日本のしくみや人々の生活が大きく変わった。明治政府がどのような国をつくらうとしたのか学習したい。

明治政府はどのような国をつくらうとしたのか。

第2時 明治維新の三大改革 【●知識・技能】

明治政府は、三大改革によって日本をどんな国にしようとしたか。

☆学制 ☆徴兵令 ☆地租改正

明治政府は、学制によって近代的な教育制度を整え、徴兵令によって軍備を強化し、地租改正によって財政を安定化させた。三大改革を行うことで、近代化を進めた。

第3時 富国強兵と文明開化 【●知識・技能】

欧米諸国に対抗するために、どのような政策がとられたか。

☆富国強兵 ☆殖産興業 ☆官営模範工業

☆文明開化 ☆福沢諭吉 ☆中江兆民

資本主義化を図り、殖産興業政策を進めることで、徴兵制と合わせて富国強兵を目指した。欧米文化の流入によって、人々の生活も大きく変わった。

第4時 岩倉使節団と殖産興業 【●思考・判断・表現】

明治政府は、なぜ東アジアの国々と交流を深めようとしたか。

☆岩倉使節団 ☆日清修好条規 ☆征韓論 ☆日朝修好条規 ☆板垣退助

日本は、アジアの中でいち早く欧米諸国との不平等条約を改正して対等な関係を築こうとし、岩倉使節団を派遣した。それは、近代国家を目指していたからだ。清や朝鮮に対して日本が有利になる条約を結んだが、それは欧米がしてきたことと同じものだった。

第5時 国境と領土の確定 【●知識・技能】

日本の領土は、どのように確定していったのか。

☆樺太・千島交換条約 ☆北海道 ☆琉球処分

ロシアとは、樺太・千島交換条約を結び、千島や樺太などの領土を確定させるとともに、北海道の開拓を進めた。また、琉球王国を沖繩として日本の領土とし、小笠原諸島なども日本となった。欧米のように近代的な国際関係を目指す日本にとっては、国境線を定め、領土を確定することが重要課題だったのだ。

第6時 領土をめぐる問題の背景 【○知識・技能】

竹島・尖閣・北方領土はどんな経緯で日本の領土になったのか。

☆竹島 ☆尖閣諸島 ☆北方領土

どの地域も、古くから日本人の生活の舞台として成り立っており、歴史的に見ても法的に見ても、日本の固有の領土だと分かった。今、日本では、北方領土などの問題があるが、領土の確定には、各国の主張の違いから生まれているのだ。

第7時 自由民権運動の高まり 【○思考・判断・表現】

明治の改革を進めてきた政府に対して民衆が不満をもっていたのはなぜか。

☆民撰議院設立の建白書 ☆自由民権運動 ☆西南戦争 ☆国会期成同盟 ☆自由党

明治政府は、旧薩摩藩・長州藩出身のごく一部の有力者からなる専制政治であったから民衆が不満をもったのだ。西郷らは、西南戦争を起こして政府に反対したが、武力ではかなわなかった。板垣は、言論で政府に対抗しようとし、国会の開設を目指したことで、自由民権運動を後押ししていったのだ。

第8時 立憲制国家の成立 【○主体的に学習に取り組む態度】

大日本帝国憲法でどのような国づくりを目指したか。

☆内閣制度 ☆大日本帝国憲法 ☆帝国議会 ☆教育勅語

大日本帝国憲法は天皇の権力が強く、天皇を中心とした国づくりのための憲法である。制限はあるが、日本で初めての選挙が行われ、国会も開かれ、民主主義の土台となった。その結果、日本はアジアで唯一の立憲国家になった。これで、欧米の国々と制度面でも肩を並べられたことにつながったのだ。

単元学習後の生徒の認識

明治政府は近代化を進めるため、富国強兵や殖産興業を進め、欧米の先進文化を積極的に取り入れていった。また、外交政策を通して日本の地位を上げようと考えていた。そして、大日本帝国憲法の発布により、アジアで最初の立憲国家になった。不平等条約改正のための準備は整ったが、これからの日本はどのように変わっていくのだろうか。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・	◇資料 指導・援助
1 新政府の成立	<p>明治政府によって多くの改革を通して、日本の近代化が進められ不平等条約の改正が成功したことによる社会の変化を理解するとともに、明治政府の目指した国づくりに対して、課題意識をもって追究しようとすることができる。</p> <p>☆五箇条の御誓文 ☆版籍奉還 ☆廃藩置県 ☆藩閥政治 ☆解放令</p>	<p>1 「五箇条の御誓文」の内容をつかむ。</p> <p>2 「版籍奉還」「廃藩置県」について確認する。 ・藩を廃止して県を置いた。県には中央の役人が来るからどの地域も明治政府が直接治めることになる。</p> <p>明治政府によってどのようなことが行われたのか。</p> <p>3 年表を使って、明治政府の諸改革をまとめる。 ・様々な改革が行われている。明治政府は、どんな国にしたかったのだろう。 ・文明開化によって人々の生活も大きく変わってきたんだ。外国の影響も受けている。 ・憲法がつくられている。どんな内容だったのか。 ・東アジアの諸外国と条約を結んでいる。 《単元を貫く課題》</p> <p>明治政府はどのような国をつくらうとしたのか。</p> <p>4 感想を書く。</p>	<p>不平等条約の改正により、近代化が進められていったことを理解することができる。【知・技】</p> <p>明治維新による国づくりへの変化に関心を持ち、明治政府がどのように近代化を進めたのか主体的に課題解決を図ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇五箇条の御誓文 ◇版籍奉還 ◇廃藩置県 ◇明治時代年表</p> <p>・廃藩置県と版籍奉還の共通点や相違点を明確にしなが、江戸時代との違いを見付けることができるようにする。</p>
2 明治維新の三大改革	<p>明治の三大改革について調べる活動を通して、江戸時代と比較しながら、明治政府が目指した近代化の国づくりや、その影響で各地で一揆が起こったことを理解することができる。</p> <p>☆徴兵令 ☆地租改正 ☆学制</p>	<p>1 年表から、版籍奉還と廃藩置県の後に、三大改革に着手したことをつかむ。</p> <p>明治政府は、三大改革によって日本をどのような国にしようとしたのか。</p> <p>2 三大改革について個人で追究し、全体で交流する。 ・武士に代わって全国統一の近代的な軍隊をつくらうとし、兵役義務を課した。 ・土地の所有権を認め、地価に対する税を現金で支払わせることで国家財政を安定させた。 ・6歳以上の男女すべてが小学校教育を受けること。実際は授業料が高かったため、就学率が低かったが徐々に伸びた。</p> <p>3 人々の負担という視点から三大改革について考える。 ・授業料や学校の建設費の負担も多かった。 ・三大改革は人々の負担も多く、反対も大きかった。</p> <p>4 まとめを書く。</p>	<p>三大改革によって、明治政府が近代化の基礎を築いていったことを理解することができる。 【知・技】</p>	<p>◇徴兵告諭 ◇政府の収入の移り変わり ◇学事奨励に関する被仰出書(学制序文) ◇おもな農民一揆</p> <p>・各改革の目的を「つまり〇〇だ」と考えさせることで、富国強兵で目指していたことに気付くことができるようにする。</p>
3 世界とつながる日本の文明開化	<p>日本の伝統的な生活の変化を調べる活動を通して、近代的な産業を発展させ、欧米諸国に対抗するために政府が進めた富国強兵・殖産興業の内容を理解し、江戸時代と比較しながらまとめている。</p> <p>☆富国強兵 ☆殖産興業 ☆官営模範工業 ☆文明開化 ☆福沢諭吉 ☆中江兆民</p>	<p>1 前時までの学習より、課題化を行う。</p> <p>欧米諸国に対抗するために、どのような政策がとられたか。</p> <p>2 個人で追究し、全体で交流する。 ・徴兵令に加え、殖産興業を進めることで富国強兵を目指した。 ・富岡製糸場などの官営模範工場が作られ、日本の資本主義化を支えた。 ・鉄道や蒸気船の運行も始まり、経済の発展の基礎となった。 ・欧米の近代思想も取り入れられ、人間の平等と民主主義を説いた福沢諭吉の「学問のすゝめ」や中江兆民のルソーの思想は大きな影響を与えた。 ・日本人の生活も欧米化し、伝統的な生活が変わっていった。</p> <p>3 まとめを書く。</p>	<p>富国強兵を実現するために、殖産興業政策が進められていったことや、欧米の文化が取り入れられ、日本の伝統的な生活が変化してきたことを、さまざまな資料から読み取り、理解している。 【知・技】</p>	<p>◇富岡製糸場の様子 ◇明治初期の日本橋の様子 ◇牛鍋を食べる「ザンギリ頭」の男性 ◇中江兆民 ◇福沢諭吉 ◇明治時代に新しく始まった仕組み ・各種資料から読み取った事実の共通点を見付けることができるようにする。</p>
<p>資本主義化を図り、殖産興業政策を進めることで、徴兵制と合わせて富国強兵を目指した。欧米文化の流入によって、人々の生活も大きく変わった。</p>				

時	ねらい	学習活動	評価規準・	◇資料 指導・援助
4	<p>岩倉使節団の目的と帰国後の動きを調べることを通して、日本が朝鮮に対して結んだ内容が、欧米がしてきたことと同じ不平等な内容だということができる。</p> <p>☆岩倉使節団 ☆日清修好条規 ☆征韓論 ☆日朝修好条規 ☆板垣退助</p>	<p>1 年表から、日本が東アジア諸国と条約を結んでいたことを確認する。</p> <p>明治政府は、なぜ東アジアの国々と交流を深めようとしたか。</p> <p>2 個人で追究し、全体で交流する。 ・岩倉使節団は、欧米との不平等条約を改正することはできなかったから、清と対等な内容の日清修好条規を結ぼうとしたから。 ・朝鮮に対して、日本が有利な日朝修好条規を結びたかったから、力で朝鮮半島を開国させた。</p> <p>3 まとめを書く。</p>	<p>明治政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国との政策を関連付けながら考察している。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇岩倉使節団 ◇日清修好条規 ◇日朝修好条規</p> <p>・欧米諸国と日本の条約の内容と関連付けながら、日清修好条規と日朝修好条規の内容の違いを見つけることができるようにする。</p>
		<p>日本は、アジアの中でいち早く欧米諸国との不平等条約を改正して対等な関係を築こうとし、岩倉使節団を派遣した。それは、近代国家を目指していたからだ。清や朝鮮に対して日本が有利になる条約を結んだが、それは欧米がしてきた不平等条約の内容と同じものだった。</p>		
5	<p>明治政府の外交政策について調べる活動を通して、ロシアなどの近隣諸国と条約を結んだり、沖縄県を設置したりするなどしながら国境を確定したことを理解することができる。</p> <p>☆北海道 ☆琉球処分 ☆樺太・千島交換条約 ☆北方領土等の問題</p>	<p>1 明治時代の外交資料から課題を設定する。</p> <p>日本の領土は、どのように確定していったのか。</p> <p>2 個人で追究し、全体で交流する。 ・蝦夷地を北海道と改め、開拓使という役所を開いて統治を強化した。 ・琉球王国は、武力によって日本に編入され、琉球藩、沖縄県と名前を変えていった。 ・方言札などを用い、徐々に同化させていった。 ・ロシアとは対等な条約を結んだが、今後北方領土の課題につながっていくのだ。</p> <p>3 まとめを書く。</p>	<p>日本の国境がどのように決まっていたかについて、他国との関係性に着目しながら読み取り、理解しようとしている。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇国境の設定 ◇琉球処分 ◇樺太・千島交換条約</p>
		<p>ロシアとは、樺太・千島交換条約を結び、千島や樺太などの領土を確定させるとともに、北海道の開拓を進めた。また、琉球王国を沖縄として日本の領土とし、小笠原諸島なども日本となった。欧米のように近代的な国際関係を目指す日本にとっては、国境線を定め、領土を確定することが重要課題だったのだ。</p>		
6	<p>竹島・尖閣諸島・北方領土に関する領有の歴史的な経緯を知ることを通して、どの地域も日本固有の領土があることを理解することができる。</p> <p>☆竹島 ☆尖閣諸島 ☆北方領土</p>	<p>1 前時の学習をふり返る。</p> <p>竹島・尖閣・北方領土はどんな経緯で日本の領土になったのか。</p> <p>2 それぞれの地域が固有の領土になった時期や経緯を年表で整理する。</p> <p>・日本政府は1905年1月に、竹島の島根県への編入を閣議決定して、正式に「竹島」と命名し、2月に島根県知事が告示した。 ・1854年、江戸幕府はロシアとの間で日露和親条約を結び、択捉島と得撫島との間に国境を定めた。 ・1885年から、明治政府が沖縄県を通じた調査などを続けており、無人島であることや、当時の清をはじめとして、どの国も支配していないことを、慎重に確認した。</p> <p>3 まとめを書く。</p>	<p>竹島・尖閣諸島・北方領土が確定していった歴史的な歩みや法的にも、日本固有の領土であることを理解している。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇改正日本輿地路程全図 ◇日露和親条約 ◇魚釣島の土地台帳 ◇北方領土等に関する課題</p> <p>・各資料から日本固有の領土であると主張できる根拠を見つけることができるようにする。</p>
		<p>どの地域も、古くから日本人の生活の舞台として成り立っており、歴史的に見ても法的に見ても、日本の固有の領土だと分かった。今、日本では、北方領土などの問題があるが、領土の確定には、各国の主張の違いから生まれているのだ。</p>		

時	ねらい	学習活動	評価規準・	◇資料 指導・援助
7 西南戦争と自由民権運動の高まり	<p>当時の人々が藩閥政治に対する不満をもっていた理由を調べる活動を通して、自由民権運動の広がりにより、国会を開設するなど、広く人々の意見を取り入れようとしていたことを考察することができる。</p> <p>☆民撰議院設立の建白書 ☆自由民権運動 ☆西南戦争 ☆国会期成同盟 ☆自由党</p>	<p>1 自由民権運動の広まりの地図から、課題化を行う。</p> <p>明治の改革を進めてきた政府に対して民衆が不満をもっていたのはなぜか。</p> <p>2 個人で追究し、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の政治は、旧薩摩藩や長州藩出身のごく一部の有力者たちで進められていたから。 ・征韓論の西郷隆盛は、西南戦争を起こし、専制政治の明治政府に反発したが、力で抑えられてしまった。 ・日本の発展のためには、専制政治ではなく、より多くの人々の思いを政治に届けることが大事だと考えたから。 ・板垣や大隈は、政党をつくって、国会開設に備えていた。 ・弾圧されても、運動を続けていることから、人々の自分たちが中心となって政治を行おうとする熱意はとてすごかったのだ。 <p>3 まとめを書く。</p> <p>明治政府は、旧薩摩藩・長州藩出身のごく一部の有力者からなる専制政治であったから民衆が不満をもったのだ。西郷らは、西南戦争を起こして政府に反対したが、武力ではかなわなかった。板垣は、言論で政府に対抗しようとし、国会の開設を目指したことで、自由民権運動を後押ししていったのだ。</p>	<p>民衆が明治政府に対して不満をもっていた理由について、自由民権運動の広まりや、明治政府の藩閥による専制政治に着目しながら考察している。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>◇自由民権運動の広がり地図 ◇西南戦争 ◇民選議院設立の建白書 ◇自由民権運動の演説会</p> <p>・民衆が弾圧を受けながらも、自由民権運動を続けられていたことから、当時の人々の願いについて捉えられるようにする。</p>
8 大日本帝国憲法と立憲制国家の成立	<p>大日本帝国憲法の内容や成立の過程を調べる活動を通して、成立した憲法は天皇主権であったり、国民の政治参加に多くの制限があったりするなど、国民の願いとかけ離れたものであったものの、自由民権運動によってアジア初の立憲制国家が成立したことを捉えることができる。</p> <p>☆内閣制度 ☆大日本帝国憲法 ☆帝国議会 ☆教育勅語</p>	<p>1 大日本帝国憲法の発布について知り、課題を設定する。</p> <p>大日本帝国憲法でどのような国づくりを目指したか。</p> <p>2 大日本帝国憲法の内容について資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇に主権があり、国を統治する。 ・天皇を中心とした内容になっている。また、国のしくみも天皇を中心としたものになっている。 ・貴族院と衆議院との二院制となった。制限があるものの、国民が国の政治に参加できるようになった。 ・国民は「臣民」とされ、議会で定める法律の範囲内で表現や思想、信仰の自由などが認められた。 <p>4 まとめを書く。</p> <p>大日本帝国憲法は天皇の権力が強く、天皇を中心とした国づくりのための憲法である。制限はあるが、日本で初めての選挙が行われ、国会も開かれ、民主主義の土台となった。その結果、日本はアジアで唯一の立憲国家になった。これで、欧米の国々と制度面でも肩を並べられたことにつながったのだ。</p>	<p>大日本帝国憲法の発布により、憲法に基づいた議会政治が始まったこと、天皇を中心とした立憲国家になったことなど、明治時代の特色について主体的に追究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	<p>◇大日本帝国憲法 ◇大日本帝国憲法による国のしくみ</p> <p>・大日本帝国憲法によって規定された「国の政治の中心が誰にあたるか等、江戸時代との違いを捉えさせる。</p>